熱帯病寄生虫病室

【原著論文】

- 1) Kawai S, Hirai M, Haruki K, Tanabe K, Chigusa Y: Cross-reactivity in rapid diagnostic tests between human malaria and zoonotic simian malaria parasite Plasmodium knowlesi infections. Parasitol Int 58(3): 300-302, 2009.
- 2) Yoshiyama M, Yamakawa M, Chigusa Y, Gibson WC: Characterization of trypsin-and chymotrypsin-like genes in the midgut of the tsetse fly Glossina morsitans morsitans (Diptera:Glossinidae). Medical Entomology and Zoology 60(1): 23-31, 2009.

【症例報告】

1) 根来伸行,森林敦子,千種雄一,清水昭男,北尾隆夫,中村紘士,三上久良,宮崎亘:都市部の自宅において,約6週間で白骨化した事例.法医学の実際と研究 52:157-161,2009.

【研究報告等】

1) 千種雄一: 食習慣に起因するタイ肝吸虫症のコントロール対策策定に関する研究 — カンボジアを 焦点に—. 財団法人大山健康財団 2008年度版年報 No.34. pp.16-21, 2009.

【学会・研究会発表】

- 1) Chigusa Y, Inoue T, Ito M, Kirinoki M, Arevalo NL, Sunico LS, Boldero NP, Villacorte EA, Solon JAA, Agatsuma T, Leonardo LR: Surveys on newly found schistosomiasis japonica endemic foci in the Philippines with comparison of that in Sorsogon Province. The 43rd Annual U.S.- Japan Conference Parasitic Disease, Tokyo, 2009-1-7.
- 2) Owhashi M, Kanari K, Hayashi N, Kirinoki M, Chigusa Y, Matsuda H: The predominant role of neutrophils on the formation of granulomatous in schistosomiasis mekongi. The 43rd Annual U.S.- Japan Conference Parasitic Disease, Tokyo, 2009-1-7.
- 3) Ohmae H, Olveda R, Doung S, Sudomo M, Phompida S, Chigusa Y: Recent progress and next step of schistosomiasis control programs in Southeast Asia. The 43rd Annual U.S.- Japan Conference Parasitic Disease, Tokyo, 2009-1-7.
- 4) Ohhira S, Chigusa Y, Hashimoto T, Del Pilar-Labarda M, Culas-Pasagui E, Ceniza RO, Siega-Sur JLJ: A unique and efficient educational program for health professions: The University of the Philippines Manila-School of Health Sciences, Palo, Leyte. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education, Chiba, 2009-7-18.
- 5) Chigusa Y, Inoue T, Igarashi M, Kirinoki M, Hayashi N, Arevalo NL, Sunico LS, Boldero NP, Villacorte EA, Solon JAA, Agatsuma T, Rivera P, Saniel O, Leonardo LR: Clinical survey on newly found schistosomiasis japonica endemic foci in the Philippines with comparison of that in Sorsogon Province. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education, Chiba, 2009-7-20.
- 6) Leonardo L, Rivera P, Solon JA, Saniel O, Chigusa Y, Boldero N, Sunico L, Villacorte E, Chua J, Manalo D, Moendeg K, Crisostomo B, Hernandez L, Payne L, Velayudhan R: Confirmation

- of the reported new foci of schistosomiasis infection in Cagayan Valley and Negros Occidental in the Philippines. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education, Chiba, 2009-7-20.
- 7) Chigusa Y, Iimura T, Chiba T, Okada H, Kawamata Y, Komatsuzaki M, Tei R, Mirokuji K, Hayashi N, Ohhira S: Schistosomiasis in Japan, Past-Present-Future. Schistosomiasis Forum, Leyte, 2009-8-11.
- 8) 林尚子, 千種雄一: 住血吸虫「遊離型 DNA」を標的とした早期診断法の開発の試み. 第2回蠕虫研究会, 宮崎, 2008-11-14.
- 9) 松本雅弘, 小道由香, 中瀬由佳里, 益山新樹, 野島正明, 川合覚, 片岡洋行, 金惠淑, 綿矢有佑: 新規 抗マラリア薬の開発—環状過酸化化合物の抗マラリア活性と体内動態—. 日本薬学会第129年会, 京都, 2009-3-27.
- 10) 見市文香, モハンマド アブ ユースフ, 津久井久美子, 川合覚, 野崎智義: ミトコンドリア関連オルガネラの新規機能 一赤痢アメーバ原虫マイトソームに存在する活性硫酸合成経路—. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-27.
- 11) 菊池三穂子, Segubre-Mercado EM, Leonardo LR, 千種雄一, 井上徹, Arevalo NL, Lim RR, Agsolid LM, 平山謙二, 吾妻健: フィリピンにおける若年性住血吸虫性肝線維化症の発症に関わる HLA-DRB1*1501の相関解析. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-27.
- 12) 島田瑞穂, 林尚子, 清水和彦, 桐木雅史, 千種雄一, Kitikoon V, 松田肇: メコン住血吸虫と日本住血吸虫感染マウスにおける20週までの病理経過. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-27.
- 13) 金成香奈子, 大橋眞, 林尚子, 桐木雅史, 千種雄一, 松田肇, Heber-Katz E: MRLマウスを用いたメコン住血吸虫症における繊維化機構の解析. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-27.
- 14) 金惠淑, 小道由香, 平本晃子, 川合覚, 平岡修, 益山新樹, 野島正朋, 綿矢有佑: マラリア治療薬開発の現在. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-28.
- 15) 田邉和裄,美田敏宏,堀部舜,先濱直子,澤井裕美,金子明,大前比呂思,中村正聡,平山謙二,小早川隆敏,堀井俊宏,岸野洋久:熱帯熱マラリア原虫における遺伝的多様性の分布.第78回日本寄生虫学会大会,東京,2009-3-28.
- 16) 有末伸子, Palacpac NMQ, 川合覚, 平井誠, 田邉和裄, 堀井俊宏: マラリア原虫 SERA 遺伝子ファミリーの分子進化. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-28.
- 17) 橘真一郎,川合覚,後藤直久,中村昇太,片貝祐子,澤井裕美,東岸任弘,北潔,保富康宏,堀井俊宏, 安永照雄,田邉和裄:アジアマカクマラリア原虫Plasmodium cynomolgiのゲノム解読.第78回 日本寄生虫学会大会,東京,2009-3-28.
- 18) 川合覚: 市販マラリア診断キットにおける Plasmodium knowlesi の交差反応性. 第78回日本寄生 虫学会大会, 東京, 2009-3-28.
- 19) 千種雄一, 井上徹, 伊藤麻依子, 桐木雅史, Arevalo NL., Sunico LS, Boldero NP, Vilacorte EA, Solon JAA., 吾妻健, Leonardo LR: フィリピンの日本住血吸虫症新規流行地(カガヤン州・西ネグロス州)の研究調査. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-28.
- 20) 桐木雅史, 林尚子, 千種雄一, Sinuon M, Doung S, Kitikoon V, 松田肇: カンボジアにおけるメコン住血吸虫症再興の潜在的リスク. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-28.
- 21) 林尚子, 桐木雅史, Kitikoon V, 金澤保, 松田肇, 千種雄一: マルチプレックス PCR によるヒト寄生 住血吸虫類の鑑別. 第78回日本寄生虫学会大会, 東京, 2009-3-28.
- 22) 髙橋延之, 井関博, 川合覚, 横山直明, 五十嵐郁男: LAMPによる Plasmodium cynomolgi 遺伝子検出法の開発. 第147回日本獣医学会学術集会, 宇都宮, 2009-4-3.
- 23) 池田浩之, 石川里子, 石黒恵美子, 塚原掌子, 濱崎洋一郎, 簱持淳, 山﨑雙次, 千種雄一, 堺淳: 当科で昨年経験したマムシ咬症の2例. 日本皮膚科学会第66回栃木地方会, 宇都宮, 2009-6-18.
- 24) 川合覚: サルマラリア原虫(Plasmodium knowlesi)感染における診断の問題点と新規検査方法の

- 開発. 第20回日本臨床寄生虫学会, 大阪, 2009-6-20.
- 25) 井関博,川合覚,髙橋延之,五十嵐郁男:人獣共通サルマラリア原虫・Plasmodium knowlesi に対する遺伝子簡易検出法の開発.第148回日本獣医学会学術集会,鳥取,2009-9-26.
- 26) 林尚子,桐木雅史,千種雄一:住血吸虫の遊離型DNA検出による診断の試み.第69回日本寄生虫 学会東日本大会,東京,2009-10-3.
- 27) 千種雄一, 林尚子, 五十嵐麻依子, 桐木雅史, Arevalo NL, Sunico LS, Boldero NP, Villacorte EA, Solon JAA, Rivera PT, Saniel OP, Leonardo LR: 21世紀に発見されたフィリピンの日本住血吸虫症有病地における臨床的研究. 第69回日本寄生虫学会東日本大会, 東京, 2009-10-3.
- 28) 川合覚,春木宏介,千種雄一:人獣共通感染性・サルマラリア原虫に対する市販マラリア診断キットの反応性.第69回日本寄生虫学会東日本大会,東京,2009-10-3.
- 29) 平井誠,川合覚,森稔幸,新井明治,松岡裕之:マラリア原虫受精決定因子PbGCS1の機能解析.第8回分子寄生虫・マラリア研究フォーラム,大阪,2009-10-9.
- 30) 松本雅弘, 岡田和朗, 脇本達也, 笹岡健二, 森田将之, 小山貴彦, 益山新樹, 野島正明, 川合覚, 平岡修, 平本一幸, 平本晃子, 佐藤聡, 金惠淑, 綿矢有佑: 新規抗マラリア薬の開発研究 —環状過酸化化合物の抗マラリア活性と体内動態—. 第8回分子寄生虫・マラリア研究フォーラム, 大阪, 2009-10-10.
- 31) 井関博,川合覚,高橋延之,平井誠,千種雄一,五十嵐郁男: LAMPによる Plasmodium knowlesi 遺伝子・迅速検出法の開発.第8回分子寄生虫・マラリア研究フォーラム,大阪,2009-10-10.
- 32) 高橋延之, 井関博, 川合覚, 横山直明, 五十嵐郁男: LAMPによる Plasmodium cynomolgi 遺伝子・ 迅速検出法の開発. 第8回分子寄生虫・マラリア研究フォーラム, 大阪, 2009-10-10.
- 33) 金惠淑,森田将之,笹岡健二,小山貴彦,松本雅広,平本晃子,川合覚,平岡修,野島正朋,綿矢有佑:薬剤耐性を克服するための新規抗マラリア薬の開発研究.第50回日本熱帯医学会大会,宜野湾,2009-10-22 ~ 23.
- 34) 川合覚, 井関博, 高橋延之, 平井誠, 千種雄一, 五十嵐郁男: LAMPによる Plasmodium knowlesi 迅速診断法の開発. 第50回日本熱帯医学会大会, 宜野湾, $2009-10-22\sim23$.
- 35) 桐木雅史, 林尚子, Sinuon M, Doung S, Kitikoon V, 千種雄一, 松田肇: カンボジアにおける集団 駆虫対策下のメコン住血吸虫症再流行. 第50回日本熱帯医学会大会, 宜野湾, 2009-10-22 ~ 23.
- 36) 菊池三穂子, Segubre-Mercado EM, Leonardo LR, 千種雄一, 林尚子, 亀井香里, 井上徹, Arevalo NL, 吾妻健, 平山謙二: フィリピンにおける若年性住血吸虫性肝線維化症の発症に関わる免疫関連遺伝子の検索. 第50回日本熱帯医学会大会, 宜野湾, 2009-10-22 ~ 23.
- 37) 宮本和子, 松田肇, 桐木雅史, 千種雄一, Sinuon M, Kitikoon V, 中園直樹: カンボジア南部メコン河支流域でのタイ肝吸虫症罹患調査. 第50回日本熱帯医学会大会, 宜野湾, 2009-10-22 ~ 23.
- 38) 宮本和子, 松田肇, 桐木雅史, 林尚子, 千種雄一, Sinuon M, Kitikoon V: カンボジア南部タイ肝 吸虫症高侵淫地域における中間宿主の検証. 第50回日本熱帯医学会大会, 宜野湾, 2009-10-22 ~ 23.
- 39) 金山敦宏, 赤尾信明, 梅本紗央里, 大西健児, 小野岳史, 小林米幸, 佐山理絵, 高本雅哉, 高山英次, 竹内勤, 千種雄一, 中村(内山) ふくみ, 量倫子, 三浦左千夫, 山口陽子, 宮平靖: 慢性感染する寄生 虫症/原虫症の在留外国人における罹患状況. 第50回日本熱帯医学会大会, 宜野湾, 2009-10-22 ~ 23.
- 40) 川合覚,井関博,高橋延之,五十嵐郁男,千種雄一:人獣共通感染性・サルマラリアの現状と診断の問題点.第9回人と動物の共通感染症研究学術集会,東京,2009-11-7.
- 41) 林尚子, 千種雄一: Sequence-capture 法による住血吸虫の遊離型 DNA 検出の改良. 第3回蠕虫研究会, 宮崎, 2009-11-13.
- 42) 岡田博, 川俣安史, 小松崎誠, 丁倫奈, 彌勒寺紀栄, 飯村拓哉, 知場一記, 林尚子, 千種雄一, 大平修二, Ilagan EJ: フィリピンにおける地域医療の現状 ―ミンドロ島, レイテ島を例として―. 第37回獨

- 協医学会, 壬生, 2009-12-5.
- 43) 知場一記,飯村拓哉,彌勒寺紀栄,丁倫奈,小松崎誠,川俣安史,岡田博,林尚子,千種雄一,大平修二,Siega-Sur JL: フィリピンにおける地域医療従事者確保のための斬新な医学教育システム University of the Philippines, School of Health Sciences, Palo, Leyte—. 第37回獨協医学会,壬生,2009-12-5.
- 44) 林尚子,桐木雅史,千種雄一,春木宏介:住血吸虫症の遺伝子診断法の開発.第37回獨協医学会, 壬生,2009-12-5.

【公開講座】

- 1) 千種雄一: 衛生害虫に係る最近の話題について: 「悪者のムシ!」・「天使のムシ?」・「ムシの妄想???」. 平成20年度栃木県衛生害虫防除等研修会, 宇都宮, 2009-3-8.
- 2) 千種雄一: こどもの寄生虫症. 平成21年度栃木県小児保健会総会・研修会, 壬生, 2009-7-4.
- 3) 千種雄一: 日本住血吸虫症の概要・フィリピンと日本における同症の現状及び海外旅行における 感染症予防対策. 院内感染防止対策講習会, 壬生, 2009-7-21.
- 4) 林尚子: 日本住血吸虫症の輸入症例・同検査法. 院内感染防止対策講習会, 壬生, 2009-7-21.
- 5) 千種雄一: 日本で撲滅できた病気 vs 外国で有病地が新たに見つかった病気. 獨協医科大学埼玉臨床研究会, さいたま, 2009-10-3.
- 6) 千種雄一: 困った寄生虫病や昆虫による病気. 2009年度獨協大学オープンカレッジ秋期講座『医者が勧める健康生活』, 草加, 2009-11-26.
- 7) 川合覚: マラリアの足音が聞こえてくる 一わが国をとりまく環境と最近の話題—. 公開シンポジウム「感染症の国際疫学研究の最前線 —日本をとりまく感染症の現状—」, 藤沢, 2009-12-12.
- 8) 千種雄一: 人を取り巻く生物的環境(特に感染症). 高知大学医学部看護学科1学年「環境保健学」, 南国、2009-12-17.
- 9) 千種雄一: フィリピンにおける日本住血吸虫症に関する疫学的研究 一特に21世紀になって新たに発見された有病地について一. 高知大学医学部大学院修士課程及び博士課程「高知大学大学院医学研究科セミナー」, 南国, 2009-12-17.